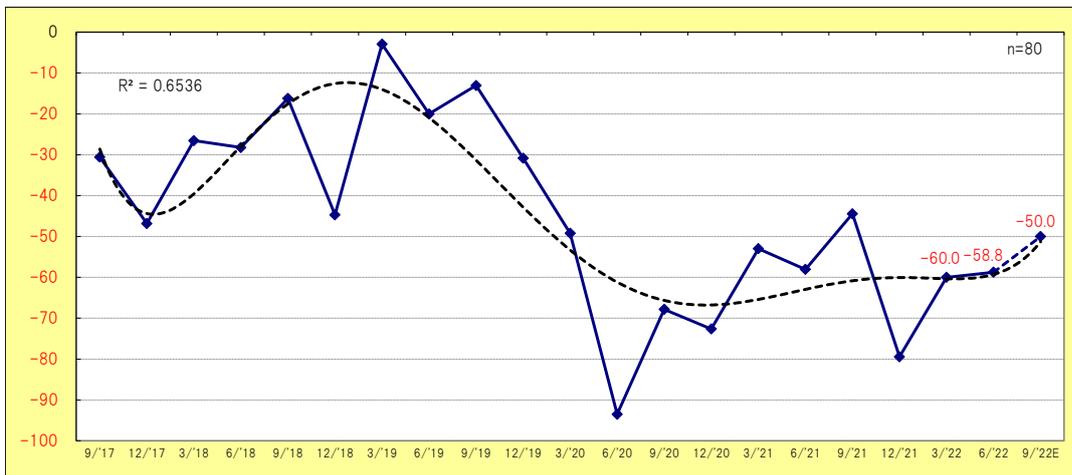


第 89 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

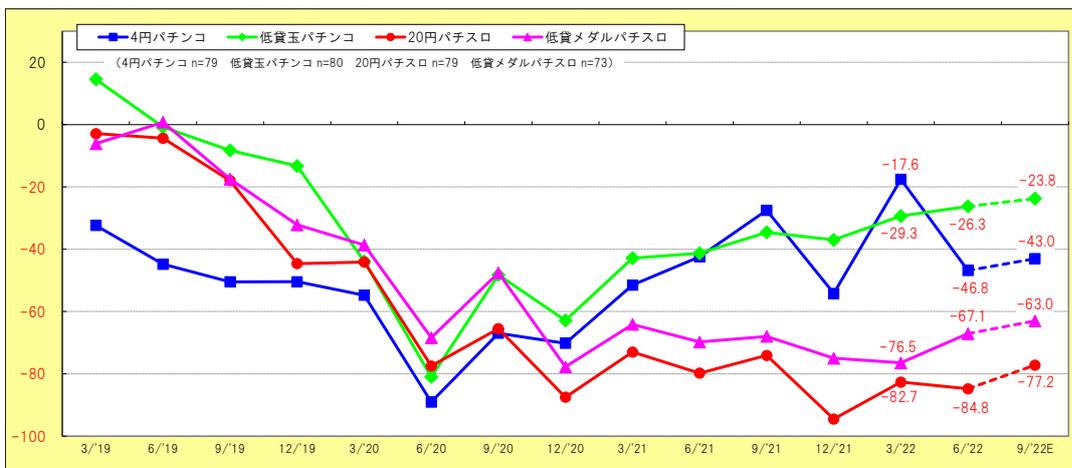
2022 年 7 月

要点

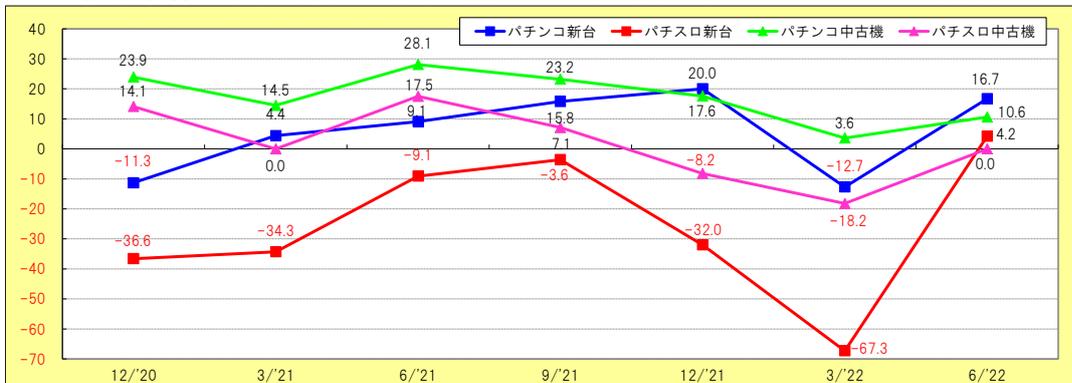
■ 全般的業況の推移: 業況は概ね横ばい、3 カ月後は回復も厳しい見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 4 円パチンコは大幅に悪化、20 円パチスロは低迷



■ 遊技機購入費: 新台・中古機ともに回復、中でもパチスロ新台は大幅に回復



◇ 回答状況

52 企業、80 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は概ね現状維持となるも、パチンコは大幅に悪化

「全般的業況」は▲58.8ポイント(前回比1.2良化)と概ね現状維持となった。3カ月後は▲50.0ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

「稼動状況」はパチンコが▲40.0ポイント(前回比22.7悪化)、パチスロが▲86.3ポイント(前回比3.6悪化)まで落ち込んだ。3カ月後はパチンコ▲38.8ポイント、パチスロ▲78.8ポイントとパチスロは特に見通しが厳しい。

「資本投資気運(遊技機)」は▲36.5ポイント(前回比9.0良化)、3カ月後は±0ポイントまで回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は▲17.3ポイント(前回比6.3良化)、3カ月後は▲5.8ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲16.3ポイント(前回比17.0良化)、3カ月後は▲21.3ポイントとやや落ち込む見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	 → -60.0	 → -58.8	 -50.0	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
2. 稼動状況 (パチンコ)	 → -17.3	 → -40.0	 -38.8	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
3. 稼動状況 (パチスロ)	 → -82.7	 → -86.3	 -78.8	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運 (遊技機)	 → -45.5	 → -36.5	 0.0	現状は引き続き雷雨 見通しは曇りに良化
5. 資本投資気運 (その他設備)	 → -23.6	 → -17.3	 -5.8	現状は雷雨に悪化 見通しは雨に良化
6. 不足感 (営業用設備)	 → -17.3	 → -31.3	 -28.8	現状は雷雨に悪化 見通しは雨に良化
7. 不足感 (雇用人員)	 → -33.3	 → -16.3	 -21.3	現状は雨に良化 見通しも引き続き雨

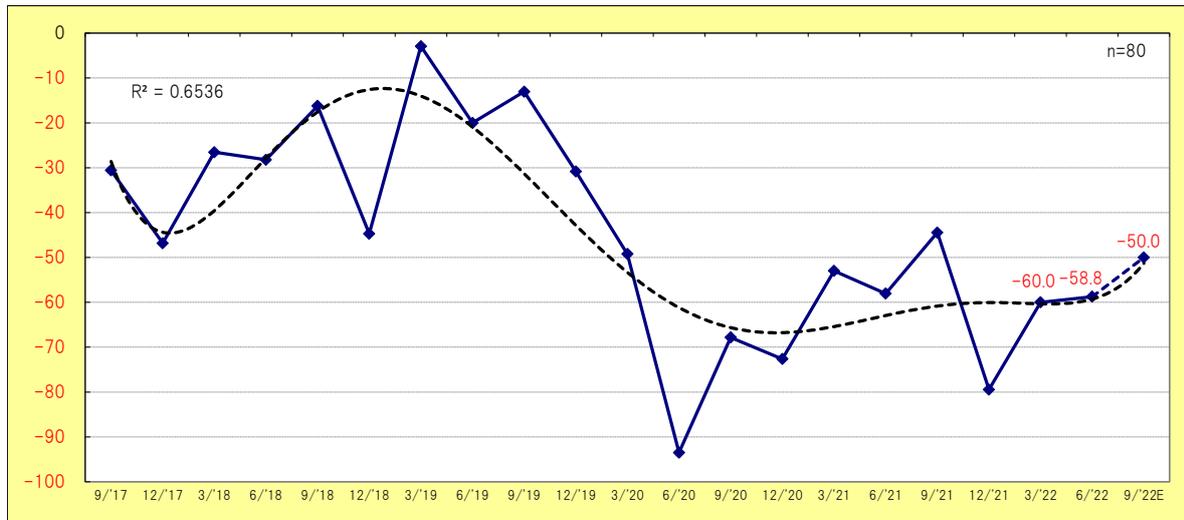
凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2022年9月期(9/'22E)の数値は見通し

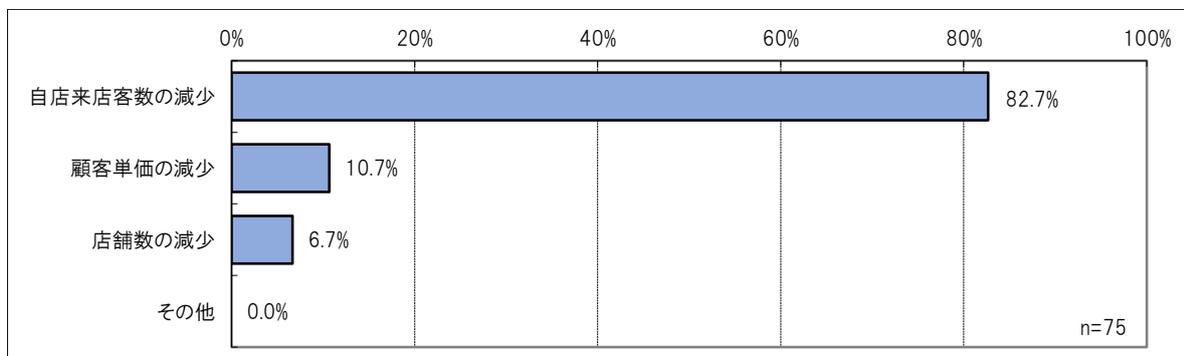
■全般的業況:概ね現状維持、3カ月後は回復するも厳しい見通し



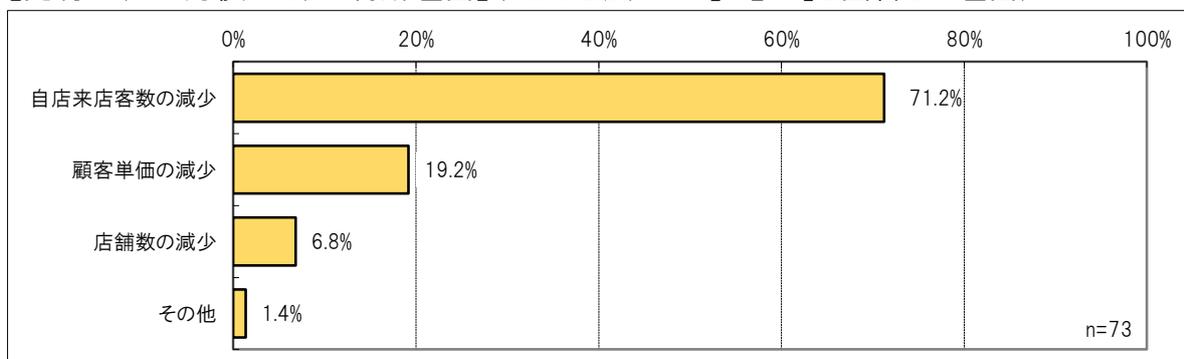
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲58.8ポイント(前回比1.2良化)と概ね横ばいで推移した。3カ月後は▲50.0ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況で8割以上、先行きで7割以上

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



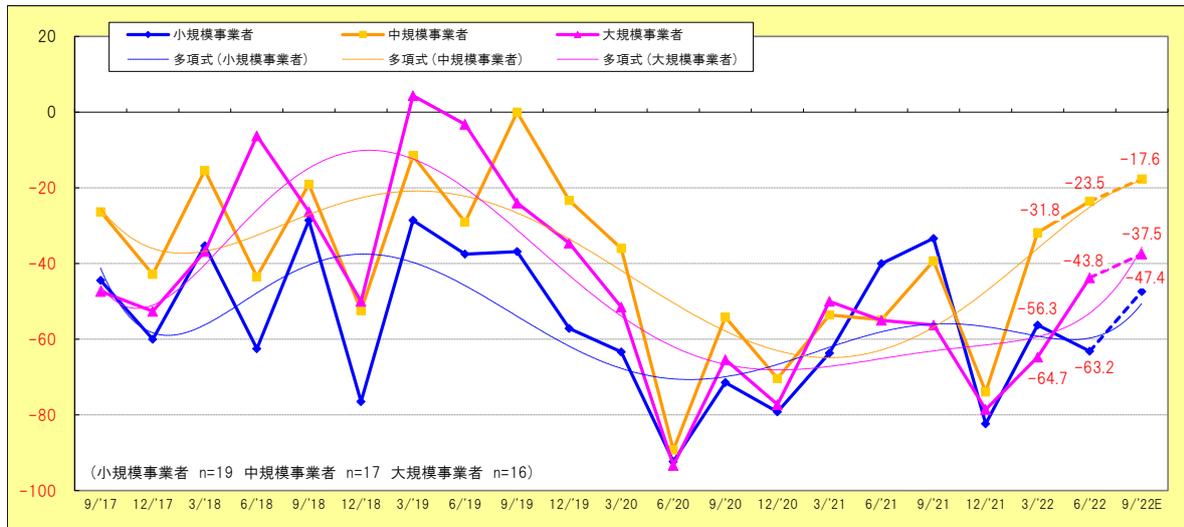
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2022年9月期(9/'22E)の数値は見通し

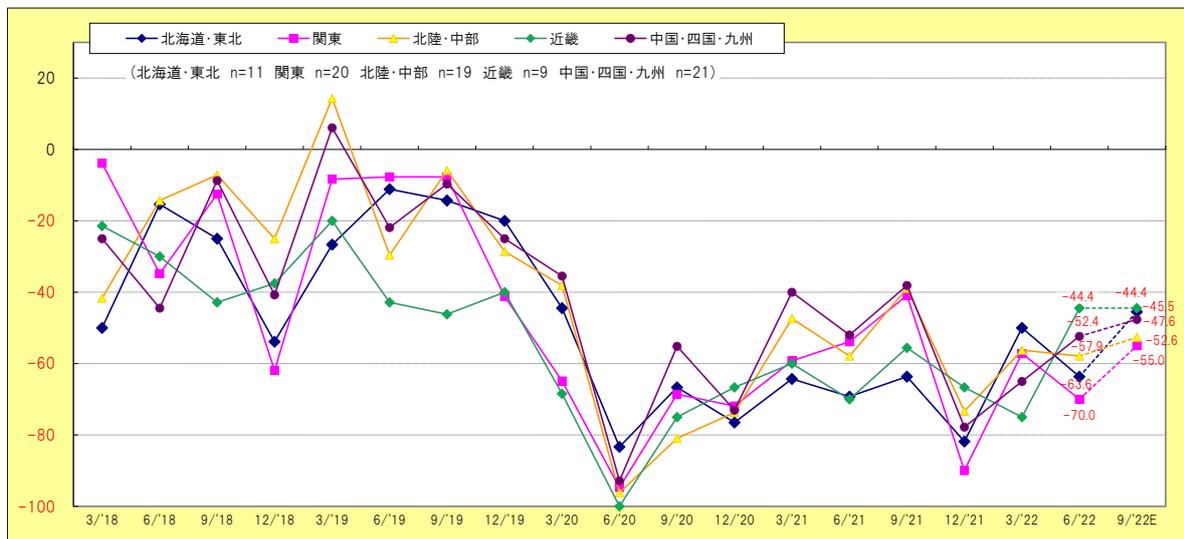
■全般的業況(規模別):大規模で大幅に回復、3カ月後は全事業者で回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3店舗)が▲63.2ポイント(前环比6.9悪化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲23.5ポイント(前环比8.3良化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲43.8ポイント(前环比20.9良化)となった。

3カ月後はすべての事業者で回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):地域別で回復はバラつくも、悪化する見通しはない



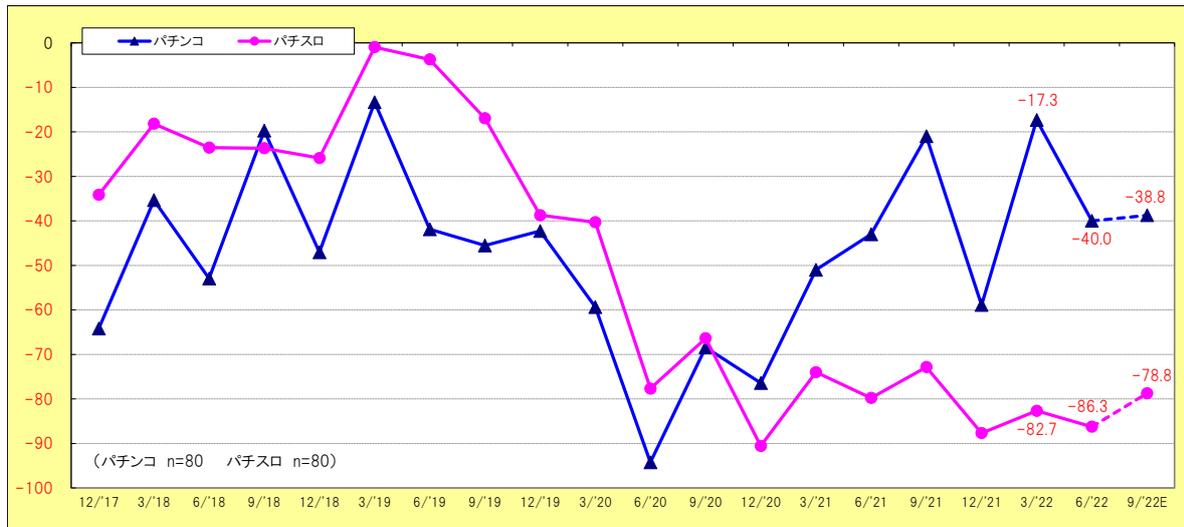
地域別での業況はバラつきが見られた。地域順では、近畿で▲44.4ポイント(前环比30.6良化)、中国・四国・九州で▲52.4ポイント(前环比12.6良化)、北陸・中部で▲57.9ポイント(前环比1.6悪化)、北海道・東北で▲63.6ポイント(前环比13.6悪化)、関東で▲70.0ポイント(前环比12.9悪化)となった。

3カ月後の業況は地域によって差があるものの、悪化する見通しの地域はない。

稼動状況(事業者全体)

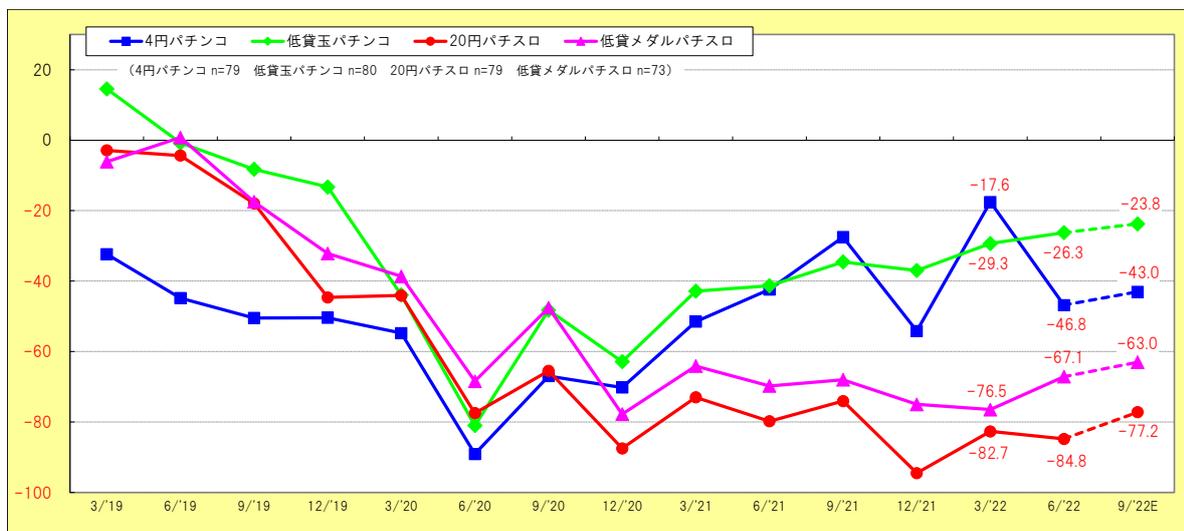
注: 2022年9月期(9/'22E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコは大幅に悪化、パチスロは低迷



稼動状況について、パチンコは▲40.0ポイント(前回比 22.7悪化)まで大幅に落ち込んだ。パチスロは▲86.3ポイント(前回比 3.6悪化)となった。3カ月後はパチンコ▲38.8ポイント、パチスロ▲78.8ポイントとなり、パチンコは概ね現状維持となる一方、パチスロは低迷が続く見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):4円パチンコは大幅に悪化、20円パチスロは低迷



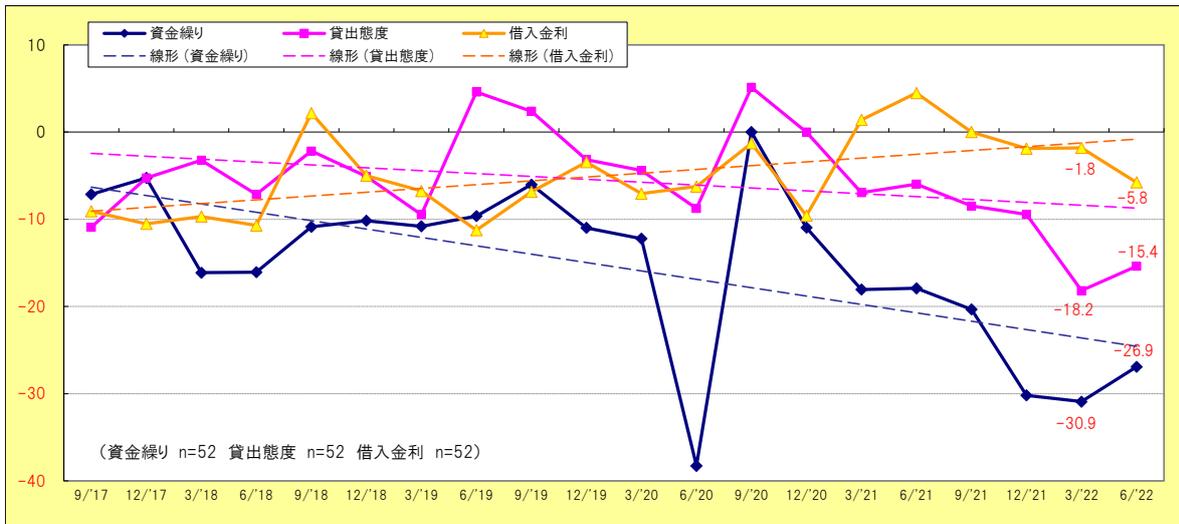
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲46.8ポイント(前回比 29.2悪化)まで大幅に落ち込んだ。3カ月後は▲43.0ポイントとやや回復する見通しである。20円パチスロは▲84.8ポイント(前回比 2.1悪化)と概ね現状維持で推移した。3カ月後は▲77.2ポイントまで回復する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲26.3ポイント(前回比 3.0良化)、3カ月後は▲24.0ポイントまで回復する見通しである。低貸メダルパチスロは▲67.1ポイント(前回比 9.4悪化)、3カ月後は▲63.0ポイントまで回復する見通しだが、20円パチスロと同様に低水準で推移する見通しである。

経営の現状(事業者全体)

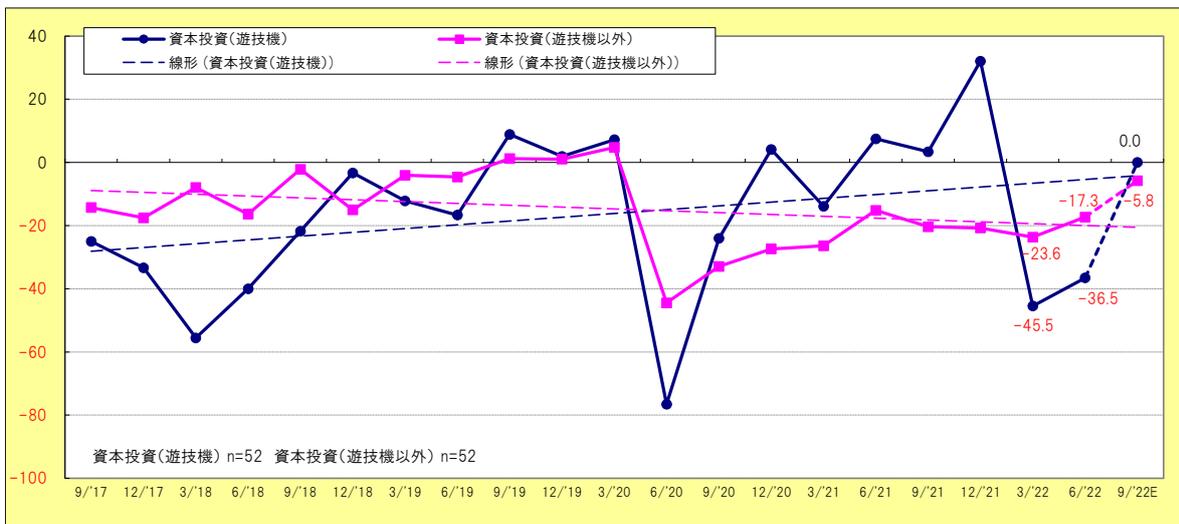
注:2022年9月期(9/'22E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りと貸出態度がやや回復、借入金利はやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲26.9ポイント(前回比4.0良化)、「貸出態度」▲15.4ポイント(前回比2.8良化)、「借入金利」▲5.8ポイント(前回比4.0悪化)となった。

■資本投資気運:遊技機は回復、3カ月後は±0まで大幅に回復する見通し



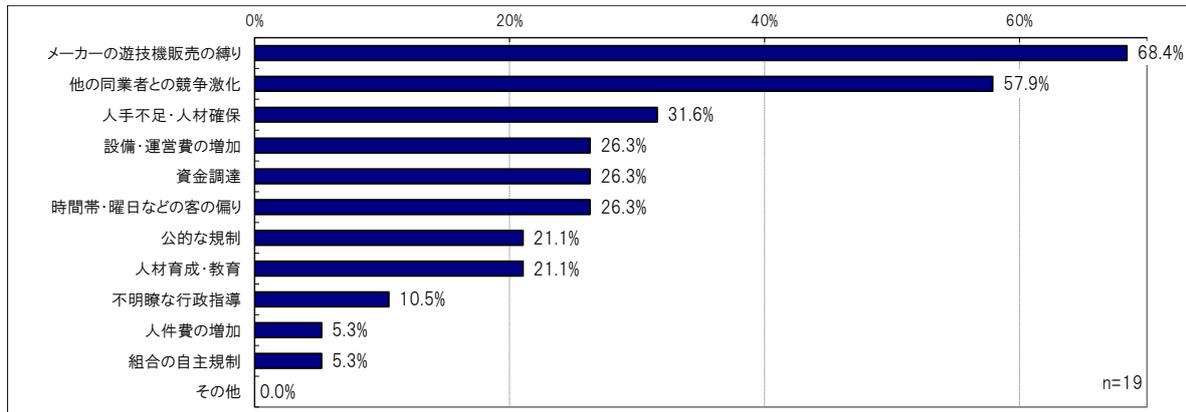
今回の「資本投資気運(遊技機)」は▲36.5ポイント(前回比9.0良化)まで回復、3カ月後は±0ポイントまで大幅に回復する見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲17.3ポイント(前回比6.3良化)まで回復、3カ月後は▲5.8ポイントまで回復する見通しである。

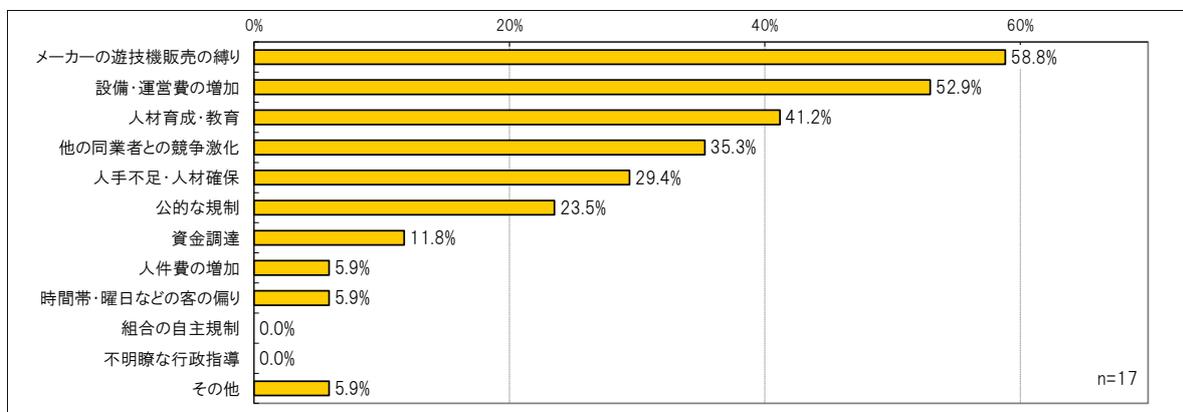
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

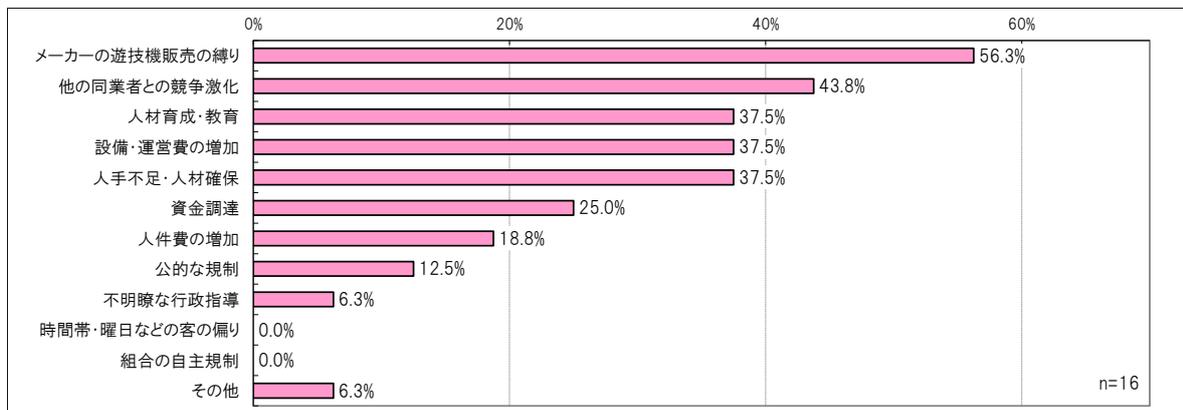
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に競争激化



■中規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に設備・運営費の増加



■大規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に競争激化



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が68.4%で最も高い。2番目に「他の同業者との競争激化」が高かった。

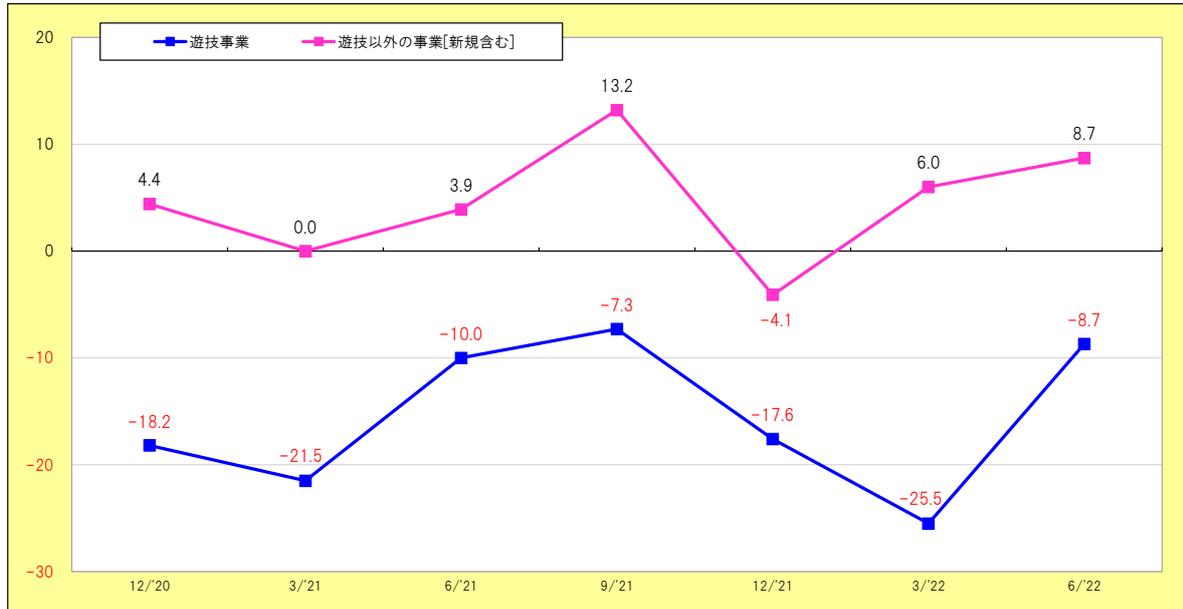
中規模事業者(4~10 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が58.8%で最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が56.3%で最も高い。2番目に「他の同業者との競争激化」が高かった。

事業規模にかかわらず、「メーカーの遊技機販売の縛り」が最も高くなっており、パチンコ店経営企業全体として大きな課題と捉えていることがうかがえる。

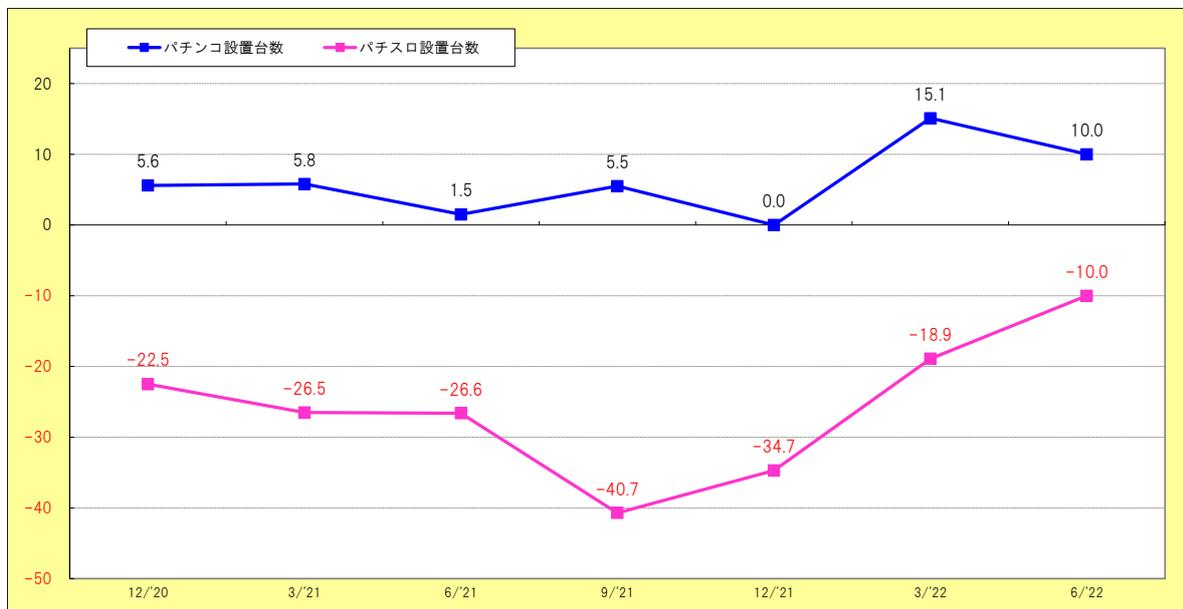
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業はマイナス圏だが、回復が見られる



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は▲8.7ポイント(前回比 16.8 良化)、「遊技以外の事業」は 8.7ポイント(前回比 2.7 良化)となった。「遊技事業」はマイナス圏で推移しているものの、回復が見られる。

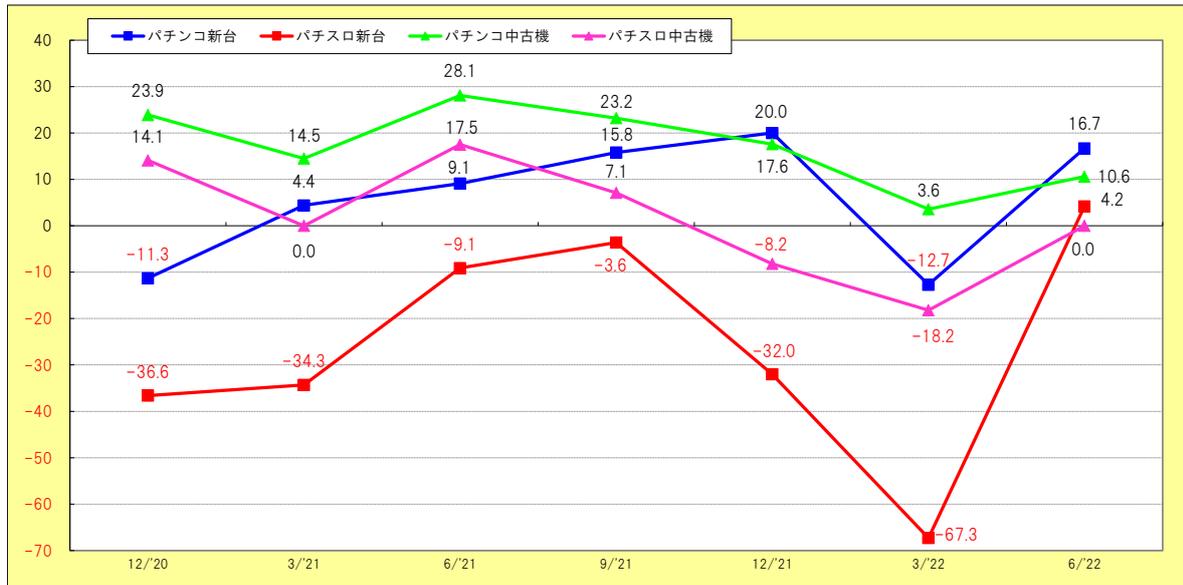
■設置台数:パチスロは回復するも、減台の意向が継続



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は 10.0ポイント(前回比 5.1 悪化)となった。一方、「パチスロ設置台数」は▲10.0ポイント(前回比 8.9 良化)と回復したが、マイナス圏で推移している。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

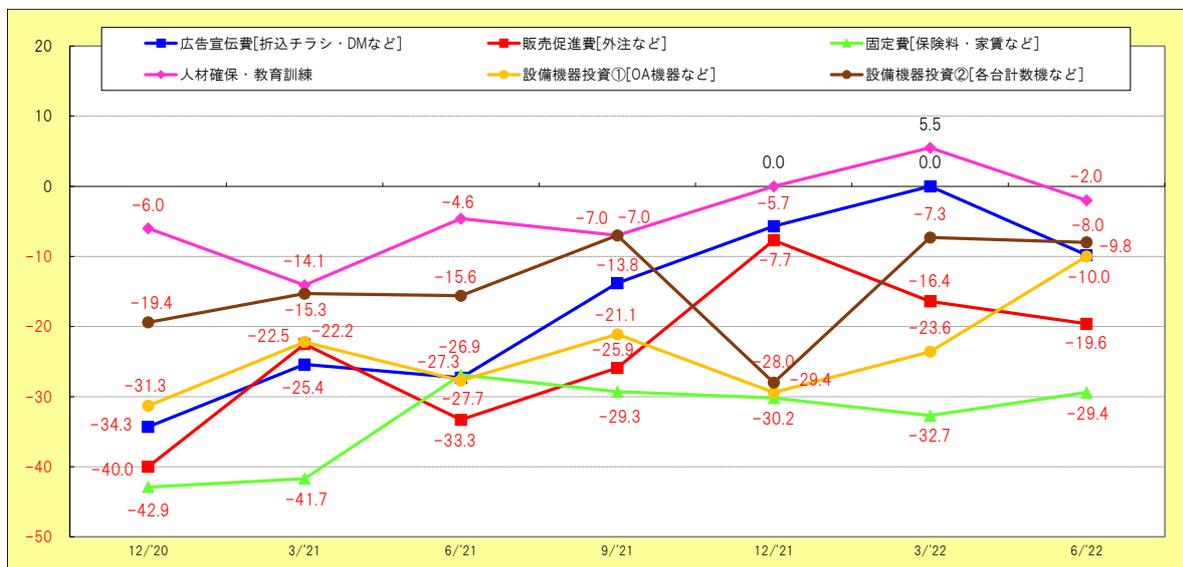
■遊技機購入費:新台・中古機ともに回復、中でもパチスロ新台は大幅に回復



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は 16.7 ポイント(前回比 29.4 良化)、「パチスロ新台」は 4.2 ポイント(前回比 71.5 良化)となった。

「パチンコ中古機」は 10.6 ポイント(前回比 7.0 良化)、「パチスロ中古機」は±0.0 ポイント(前回比 18.2 良化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資①」は増やす見通し



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は▲9.8 ポイント(前回比 9.8 悪化)、「販売促進費」は▲19.6 ポイント(前回比 3.2 悪化)、「固定費」は▲29.4 ポイント(前回比 3.3 良化)、「人材確保・教育訓練」は▲2.0 ポイント(前回比 7.5 悪化)、「設備機器投資①」は▲10.0 ポイント(前回比 13.6 良化)、「設備機器投資②」は▲8.0 ポイント(前回比 0.7 悪化)となった。

「広告宣伝費」と「人材確保・訓練」は減らす見通しであるが、「設備機器投資①」は増やす見通しである。

コメント(自由回答)抜粋①

■現状と今後について

- ◆コロナによる売上減少の回復を待っているが、なかなか”コロナ前の8掛け”から浮上しない。最近よく話題となる「公営競技のネット投票」や「オンラインカジノ」へのシフト(売上・粗利の移転)が想定外の競合として大きな影響を及ぼしている。特に競馬はコロナ禍以降に急伸しており、売上の90%以上がネット投票だ。公営とはいえども、依存症の文脈で少なくとも議論の対象とされるべきと思う。(関東・大規模事業者)
- ◆コロナ禍にあっても日常に近づきつつあるが、廃業などで店舗数は減ってきている。それだけ営業しにくい環境になっている証である。先を考えれば非常に厳しいものと思うが、少しでも早くお客様が戻ってくることを願うばかりである。(関東・中規模事業者)
- ◆コロナ禍の2年半を過ごして思ったことは、やはり最後には備えある行動をしていたところ、変わり身を早くさせたところが逃げ切れるのだと感じた。そしてなによりも良い時にこそ協力関係を築いてくれた方との折衝を大事にし、店に関するクライアントのフォローを忘れず行うべきだったと感じる。苦しい時にこそ、それが助け舟になるといった事例を他の方から聞き、自社の取り組み不足を痛感している。(近畿・中規模事業者)
- ◆コロナは取りあえずの収束感はあるものの、物価や光熱費の上昇から可処分所得は低下しており、レジャーの中でも特に我々の業界へ投資が向くとは考えにくい。我慢比べは続く。(関東・小規模事業者)
- ◆戦争による経済の不安定化がもたらす物価の上昇や可処分所得の減少により、遊技客の来店頻度の低下が懸念される。(中国・小規模事業者)
- ◆ウクライナ戦争や上海ロックダウンなどによって、遊技台に限らず機器類全ての納期が不安定な状況は早く改善して欲しい。また、電気代の値上げが地味に厳しい。再エネ賦課金のために年々上がっている。(四国・大規模事業者)
- ◆ここに来てシルバー層を中心に低貸で遊ぶ遊技客の戻りにストップがかかっている傾向。4月からの年金の減額が影響していると思われる。(関東・小規模事業者)
- ◆6.5号機で業績が回復するかどうか大きい。(関東・中規模事業者)
- ◆依然として、パチンコへの誘導そしてパチスロ稼働の維持がテーマであり、経費も明確に配分している。パチスロ6.5号機への過度な期待はしないことを全社統一の見解としている。(近畿・小規模事業者)
- ◆稼げないパチスロ6号機を6.5号機に替えていきたいが、資金的にスローペースとなる。それまでパチンコに頑張ってもらいたい。(関東・小規模事業者)
- ◆部材不足、販売台数の縮小により、メーカーの新台の販売方法がより悪質化している。プレミアム台の中古価格が高騰しすぎて新店などの計画が立てられない状況である。(東北・中規模事業者)
- ◆コロナの影響からは回復傾向にあるが、ウクライナ情勢の関係で再び落ち込みそう。物価高は遊技客の使用金額を減少させてしまう。スマート遊技機の開発を進めているようだが、現在の遊技機購入費を「スマート」にして欲しい。パチンコ店が減少すれば、困るのはメーカーである。(中部・小規模事業者)
- ◆遊技機の半導体不足による生産体制に混乱が見られる中で、販売方法が抱き合わせ・機歴販売などにより、機械購入費が増加傾向にある。販売方法の一日でも早い正常化(モラル化)を望む。(中部・小規模事業者)
- ◆遊技機メーカーと設備メーカーの結束を強め、購入するホールへの不安がないように製造能力の向上と実際の製品製造へ尽力してほしい。ホールへ行きたらない遊技機や設備は法人格差が生まれるので、何よりも優先順位で進めて欲しい。(関東・小規模事業者)
- ◆この先、スマートパチンコ・パチスロがどの位普及するのか。スマートパチンコ・パチスロの導入にあたり費用がどの位掛かるのかが気になる。(東北・小規模事業者)
- ◆スマートパチスロの早期市場導入に期待したい。(九州・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-56.3	-63.2	-47.4	-31.8	-23.5	-17.6	-64.7	-43.8	-37.5	-60.0	-58.8	-50.0
稼動状況(パチンコ)	-12.5	-36.8	-31.6	18.2	-5.9	-5.9	-23.5	-25.0	-25.0	-17.3	-40.0	-38.8
稼動状況(パチスロ)	-87.5	-78.9	-63.2	-77.3	-88.2	-82.4	-82.4	-81.3	-68.8	-82.7	-86.3	-78.8
資本投資気運(遊技機)	-50.0	-31.6	0.0	-54.5	-29.4	-5.9	-29.4	-50.0	6.3	-45.5	-36.5	0.0
資本投資気運(その他設備)	-25.0	-26.3	-26.3	-22.7	0.0	17.6	-23.5	-25.0	-6.3	-23.6	-17.3	-5.8
不足感(営業用設備)	-25.0	-21.1	-26.3	-4.5	-29.4	-35.3	-35.3	-31.3	-25.0	-17.3	-31.3	-28.8
不足感(雇用人員)	-37.5	-31.6	-31.6	-50.0	-17.6	-23.5	-41.2	-25.0	-37.5	-33.3	-16.3	-21.3

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-50.0	-63.6	-45.5	-57.1	-70.0	-55.0	-56.3	-57.9	-52.6
稼動状況(パチンコ)	-20.0	-45.5	-45.5	-19.0	-45.0	-40.0	-6.3	-52.6	-47.4
稼動状況(パチスロ)	-90.0	-81.8	-63.6	-71.4	-85.0	-80.0	-87.5	-89.5	-84.2
不足感(営業用設備)	-10.0	-9.1	-18.2	-23.8	-30.0	-30.0	-12.5	-36.8	-31.6
不足感(雇用人員)	-50.0	-9.1	-27.3	-38.1	-10.0	-15.0	-18.8	-15.8	-15.8
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-75.0	-44.4	-44.4	-65.0	-52.4	-47.6	-60.0	-58.8	-50.0
稼動状況(パチンコ)	-25.0	-22.2	-22.2	-20.0	-28.6	-33.3	-17.3	-40.0	-38.8
稼動状況(パチスロ)	-100.0	-100.0	-100.0	-80.0	-81.0	-71.4	-82.7	-86.3	-78.8
不足感(営業用設備)	-25.0	-44.4	-22.2	-15.0	-33.3	-33.3	-17.3	-31.3	-28.8
不足感(雇用人員)	-62.5	-33.3	-33.3	-20.0	-19.0	-23.8	-33.3	-16.3	-21.3

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-58.8	-62.5	-42.1	-13.0	-22.7	-17.6	-21.4	-11.8	-18.8	-30.2	-30.9	-26.9
貸出態度	-11.8	-12.5	-31.6	-13.0	-22.7	-11.8	0.0	-17.6	0.0	-9.4	-18.2	-15.4
借入金利	11.8	0.0	-5.3	-8.7	0.0	0.0	-7.1	-5.9	-12.5	-1.9	-1.8	-5.8

* 全般的業況 n=80、稼動状況(パチンコ)n=80、稼動状況(パチスロ)n=80、資本投資気運(遊技機)n=52、資本投資気運(その他設備)n=52、不足感(営業用設備)n=80、不足感(雇用人員)n=80、資金繰り n=52、貸出態度 n=52、借入金利 n=52

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2022年6月14日～6月30日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

52企業、80地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2022 SEES RESEARCH